

あした TOMORROW

大阪市里親会*会報誌

家族の意味、親子の意味を一緒に考えたい。

No. 7

2016 [H28]
Jan
1月

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え皆様方にはますますご清祥のこととお慶びを申し上げます。

昨年は総会、春季親睦会（枚方パーク）、夏季研修会、街頭チラシ配り、大阪市里親会シンポジウム、みかん狩りをはじめ、研修会（講義型、参加型、近畿、府市堺市など）が多くの団体、個人の支援を賜り開催することが出来ました。また、一年を通し理事の皆様には養育に大変な中にも関わらず、各行事の企画・運営にご尽力下さり厚く御礼申し上げます。会員の皆様には、日頃養育にご苦労下さり、さらに、研修会、行事にご参加いただき誠にありがとうございました。お蔭をもちまして滞りなく無事終えさせていただきました。

本年も恒例の行事の開催をはじめ、研修の充実を図り、特に里親サロンに多くの会員の皆様に参加していただき、お互いに情報を交換し、さらに仲間としての絆を深めて、大阪市里親会の活動を進めたいと存じます。

そして、今年も例年にも増して、家庭養育の大切さを広く社会に訴え、里親制度を知らない人々に啓蒙・啓発につとめ、親と暮らせない子どもたちが一人でも安心・安全・温かい家庭で育つことができるよう、市民運動としての活動の礎となり、地域や企業を巻き込んだ活動になるよう皆様と共に尽力したいと思っております。子どもたちの未来のために力を結集しましょう。

最後に、今年7月3日(日)には大阪信愛女学院を会場に、近畿地区里親研修会が、「社会的養護の役割を担う里親及び関係者が一堂に集い、相互に経験や情報を交換し、さまざまな視点から養育等についての研鑽を深め、児童の養育技術の向上を図るとともに、里親制度の将来的発展に寄与すること」を目的に開催されます。

今年も大阪市の里親会が担当になっており、昨年より準備を始め、1月には実行委員会を

立ち上げ、理事をはじめ多くの方々のご協力を頂いて大勢の参加者に喜んでいただけることを目指して進めています。何卒、大勢の参加をお願いいたします。

重ねて、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

大阪市里親会会長
梅原啓次



大阪市里親会シンポジウム

平成27年11月8日
関西テレビ「なんでもアリーナ」

基調講演「実親と一緒に生活できない子どもたちの現状」 ケースマネジメントアドバイザー 市村好弘氏



平成27年11月8日、大阪市里親会シンポジウムが、関西テレビの協力のもと、『関西テレビ・なんでもアリーナ』において開催されました。基調講演「実親と一緒に生活できない子どもたちの現状」（左ページに講演資料）に続き、パネルディスカッション、その後関西テレビの映像「報道貢献からCSRへ」を放映。有意義なシンポジウムとなりました。参加者は67人。閉会後の個別相談コーナーには2件の相談がありました。

午後1時、関西テレビ・関純子アナウンサーの総合司会のもと里親会シンポジウムが始まりました。

梅原啓次大阪市里親会会長による開会あいさつの後、基調講演『実親と一緒に生活できない子どもたちの現状』と題して、大阪市こども相談センターのケースマネジメントアドバイザー・市村好弘氏に、子どもの養護問題、児童虐待の現状、また社会的養護の現状と課題について、そして必要とされる養育環境と里親支援についてお話しいただきました。

パネルディスカッションでは、養育里親の松井直子氏、和田隆博氏、専門里親の梅原啓次氏がパネリストとして、それぞれの思いをお話しくれました。

松井氏は、里子から里親へなされた経緯をもとにお話を進められました。ご自身の荒れていた時期をじっと見守り養育してこられた里母さんも会場にお越しでしたので、お話を伺えたことは幸いでした。

和田氏はご自身の挫折がきっかけとなり里親になることに至った経緯をお話しくれました。また、ご自身が主催する『こどもデザイン教室』を通じて子ども達が社会と関わることを支援されている方でもあり、映像では子ども達の活動の様子や企業との連携の様子が映し出されていました。

和田氏は、絵やデザインを通して子どもに夢と自信を与え、うまく企業とつながることができれば、経済的な援助へとつながっていくといった支援を実践されています。



総合司会 関純子 アナウンサー
(関西テレビ)



養護問題

- 家庭環境、病気、拘留、離婚、未婚など
- 児童虐待

要保護児童 (児童福祉法)

- 保護者のいない児童
- 保護者に監護させることが不適当な児童

児童虐待が子どもに与える影響

- からだへの影響
 - ・身体的外傷 ・骨折 ・火傷 ・発育不良
 - ・障がい ・死亡
- こころへの影響
 - ・人間不信 ・自尊感情の乏しさ ・自己否定的
 - ・無気力
- 行動への影響
 - ・パニック ・おびえ ・落ち着きのなさ
 - ・自傷 (リストカットなど) ・非行 ・薬物依存

「社会的擁護」とは、家庭において適切な養育を受けることができない子どもに対し、公的責任の下で養育や保護を行なうことです。社会的擁護には「施設養護」と「家庭養護」があります。

施設養護とは

- 児童福祉施設における養育をいいます。
- 児童相談所が入所措置を行います。(児童福祉法第27条第1項第3号)
- 社会的擁護を担う児童福祉施設には、乳児院、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、障がい児施設があります。
- 児童自立生活援助事業 (自立援助ホーム) 施設を退所した児童または義務教育卒業後の自立支援が必要な児童について、対象者の申込みに応じて提供を行います。※義務教育終了後、20歳未満対象

家庭養護とは

- 家庭や家庭に近い形態における養育をいいます。
- 家庭的擁護には、養子縁組によるものと、里親、ファミリーホーム (小規模住居型児童養育事業) があります。
- 里親やファミリーホームについても施設養護と同様、児童相談所が委託措置を行います。(児童福祉法第27条第1項第3号)

社会的擁護の現状

- 様々な理由により家族と暮らせない子どもたち。全国で約4万6千人の子どもたちが乳児院、児童養護施設、里親家庭、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設等で生活している。
- 90%以上の子どもが施設で暮らしており、里親家庭にいる子どもは少ない。
- 近年の課題は、社会的擁護を必要とする子どもの数の増加と、虐待等子どもの抱える背景の多様化複雑化が指摘されている。
- 大阪市では1233人の子どもたちが乳児院、児童養護施設、里親家庭で生活している。(里親家庭92人、ファミリーホーム52人、平成26年3月末現在)
- 大阪市の里親委託率は11.68% (平成26年度)
- 大阪市の児童数に対する社会的擁護を必要とする子どもたちの割合は、全国平均の2倍に近い数値となっている。

梅原氏は里親会会長としての立場から、里親としての支援が決して特別なことではなく、市民活動となっ
てほしいということ、企業が里親家庭で育った子ども
を受け入れてほしいということ、また、メディアがど
んどんと里親制度を啓蒙してほしいといった希望を熱
く語られました。

パネルディスカッションの最後に、司会の関純子ア
ウンサーの機転で、参加者が小さなグループに別れ

て話し合いをする時間を作ってくださいました。これ
はとても好評で嬉しいハプニングでした。

今回のシンポジウムは有意義でとても内容の濃い開
催となり、関西テレビのスタッフの皆さまに厚くお礼
申し上げます。

しかしながら、シンポジウムの参加者数はまだまだ
少なく残念なことでした。どのように関心を高めてい
き、里親を増やしていくか、今後の課題です。

里親支援専門相談員の活動を通して学んできたこと

児童養護施設 田島童園
里親支援専門相談員

松崎 道香

大阪市生野区にある児童養護施設「田島童園」で里親支援専門相談員として働いています。

3年前、私が里親支援専門相談員になったばかりの頃は、里親支援専門相談員としての自分の立場や求められるニーズが全くわからず、里親支援の活動をどのように展開していくことが相応しいのか悩んでいました。

当時、施設の業務分担では地域担当もやらせていただくことになり、まだまだ社会的に確立されていない児童養護施設の地域交流やボランティア活動について、入所児童への配慮も行いつつ、どのように社会貢献をおこなっていけるのかを考えていくことが私自身の大きな課題になっていました。

何故ここで、地域についての事を述べたかということ、里親支援専門相談員としての私自身の取り組みは、「地域力」ということが大きく影響していったという経緯があるからです。

田島童園のある生野区という地域は、子ども・大人・

障がいのある方・多文化にルーツをもつ方・高齢者など福祉の支援を必要とする人々について、地域の皆様をはじめ福祉の専門職が「支援」という言葉で表現するのではなく「共に生きる」ということを意識しているとても良い文化が根付いている地域であります。

児童養護施設の地域担当を通して、里親支援専門相談員という職種を知っていただき、社会的養護の子ども達にとって「里親制度」が重要であることを理解してもらったことができたのは、「生野区社会福祉協議会・地域支援担当」の皆さんのコーディネートが大きな力となりました。

田島童園も参加している「生野区学童期のこども支援連絡会」は、生野区社会福祉協議会を事務局に構成した生野区で、学童期の子ども達を支援している専門職がお互いの活動を知り、共に子育てを支える支援者の会であります。平成26年11月に生野区学童期の支援連絡会主催で大阪市里親会梅原会長をお招きしての学習会を行ったことが生野区での里親啓発の第一歩でした。梅原会長の里親体験談を聞く地域の皆様の真剣な表情は、今でも私自身の胸にやきついていきます。

平成27年には、「生野区子ども・子育てプラザ」での里親制度啓発活動をスタートさせました。地域の子育ての拠点である、生野区子ども・子育てプラザが協力をしてくれたことは大きな力となり、「大阪市里親

いろいろ応援団」をはじめとした市民ボランティアとの啓発活動が展開できるようになったことも地域の皆様のご協力があったこそだと感謝しております。大阪市里親いろいろ応援団の皆さんの活動実績や市民への働きかけには、とても勉強させられることが沢山ありました。

これまでの里親啓発の活動を通して、里親支援専門相談員が市民の皆様と協働するということは、里親さんや社会的養護の子どもたちが暮らしやすいまちづくりに大きく影響する大切なことであると自覚しています。私自身は未熟なことばかりで専門性を深める必要がある身ですので、里親さんや子ども達を支援していただけるように今まで以上に努力をしていきたいと思っています。



みかん狩り



上の太子観光みかん園
(大阪府南河内郡太子町)

平成27年11月1日、今や里親会のおたのしみ恒例行事となった「みかん狩り」が、『上の太子観光みかん園』で行われました。昨年は小雨が降る中の開催でしたので、今年もやはりお天気がどうなるか当日まで気がかりでした。しかし、里親子はじめスタッフ関係者の願いが通じたのか、当日は秋晴れのさわやかなお天気となりました。午前10時、近鉄上ノ太子駅に集合した参加者一同は会場のみかん園へ。里親も子ども達もみかんとバーベキューをおなかいっぱいに食べました。また、山登りやアスレチックでの遊びなどで元気いっぱい体に動かし、楽しい秋の一日を過ごすことができました。今後この催しが里親里子のふれあい場として楽しく有意義な行事となりますよう、次回も多くの皆さまのご参加をお待ちしております。なお、当日の参加者は103人(内訳/幼児16人・小学生23人・中学生11人・高校生8人・大人45人)でした。



平成28年度 近畿地区里親研修会・開催概要

趣旨

社会的養護の役割を担う里親及び関係者が一堂に集い、相互に経験や情報を交換し、様々な視点から養育などについての研鑽を深め、児童の養育技術の向上を図るとともに、里親制度の将来的発展に寄与することを目的とする。

日時

平成28年7月3日(日) 10時30分～16時30分(受付10時～)

会場

大阪信愛女学院 大阪市城東区古市 2-7-30 ☎06-6939-4391(代表)
地下鉄 今里筋線・新森古市駅 徒歩5分 谷町線・関目高殿駅 徒歩15分
京阪電車・京阪関目駅 徒歩15分

日程

- 10:30 開会式(里親信条唱和、主催者・来賓挨拶、来賓・主催者紹介)
- 10:45 全国里親会奉告
- 11:00 基調講演 テーマ(仮)「世界と日本の里親の現状～里親の目指すところ～」
講師 長野大学社会福祉学部准教授 上鹿渡和宏氏
- 12:30 昼食
- 13:30 分科会 第1分科会「虐待と脳科学」(仮)
福井大学病院 子どものこころ診療部 滝口慎一郎 准教授
- 第2分科会 ネットトラブルの現状と課題～私たち大人ができること～
華頂短期大学 堀出雅人氏
- 第3分科会 里親として知っておきたいこと～弁護士に聞く～
弁護士 山口宣恭氏(里親会会員)
- 第4分科会 養育技術の向上～コモンセンス・ペアレンティング～
- 第5分科会 里子から里親へ
松井直子・操氏(里親会会員)
- 16:15 閉会式 次回開催地挨拶 京都府(終了16:30)

参加者

里親及び里親関係機関 約300人

今後の行事予定



講義型研修

- カウンセリング研修** 日時/未定 場所/大阪市こども相談センター
内容/聞く力の意味を知ろう 対象/登録里親全員、社会的養護に関心のある方
- 性教育研修** 日時/未定 場所/大阪市こども相談センター
内容/性教育の知識 対象/登録里親全員、社会的養護に関心のある方
- 年齢別研修** 日時/未定 (4回開催予定) 場所/大阪市こども相談センター
内容/子どもを理解するために・講義と質疑応答

参加型研修

- コモンセンス・ペアレンティング学齢期版**
日時/未定 (2月・3月予定)
場所/大阪市こども相談センター 内容/聞く力の意味を知ろう
講師/梅原啓次 (大阪市専門里親・大阪市里親会会長) 対象/登録里親全員、里親に興味がある方
- 委託児童年齢別の里親サロン**
日時/未定 場所/大阪市こども相談センター 内容/本音で語ろう里親の苦労話

平成 28 年度の行事予定 (案)

- 第 59 回定例総会**
日時/4月27日(水) 午後1時～ 場所/大阪市こども相談センター
- 春季行事**
日時/5月15日(日) 午前10時～ 場所/ひらかたパーク
- 近畿地区里親研修会**
日時/7月3日(日) 午前10時～ 場所/大阪信愛女学院
- 夏季行事**
日時/8月21～22日(日・月) 場所/淡路島方面
- 秋季行事**
日時/11月6日(日) 午前10時～ 場所/上の太子観光みかん園
- 里親シンポジウム**
日時/未定 場所/未定
- その他**
◇全国里親大会 ◇府・市・堺市合同研修会 (春)

平成 27 年度の主な行事報告

街頭活動

日時/平成27年10月18日(日) 場所/難波高島屋前歩道
内容/里親活動案内チラシを通行人に配布しました。 対象/大阪市里親会会員 (里親と里子)
参加/13人



秋季行事・みかん狩り

日時/平成27年11月1日(日) 午前10時30分 場所/上の太子観光みかん園
内容/パーベキューとみかん食べ放題 対象/大阪市里親会会員 (里親と里子)
参加/幼児16人 小学生23人 中学生11人 高校生8人 大人45人 計103人

里親シンポジウム「親とくらしえない子どもたちの今」

日時/平成27年11月8日(日) 午後1時～4時
場所/関西テレビ「なんでもアリーナ」 総合司会/関 純子アナウンサー (関西テレビ)
内容/第1部 基調講演「実親といっしょに生活できない子どもたちの現状」、パネルディスカッション
第2部 関西テレビ・映像「報道貢献からCSRへ」 閉会后、個別相談コーナー (2件)
参加/67人

今後とも皆さまの情報交換の場として、ご意見、ご投稿をお待ちしております。

発行/大阪市里親会 発行人/梅原啓次 編集担当/藤本昌弘 事務局/大阪市中央区森ノ宮中央1-17-5 こども相談センター内
☎06-4301-3100 Fax 06-6944-2060 ホームページ <http://osaka-city-satooya.jp>